

## 試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：12月どりブロッコリーの優良品種の選定（第64回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕12月どりのブロッコリー栽培では、花蕾の成長に優れ、べと病などの発生が少ない「KAZ002」、「SYBR-141」及び「アーサー」の3品種が適している。			
フリーワード <sup>※</sup> ブロッコリー、品種、12月どり、野菜品種審査会			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 水稲・畑地園芸研究所 東総野菜研究室	
	協力機関	日本種苗協会千葉県支部、（公社）千葉県園芸協会、 ちばみどり農業協同組合、生産振興課、海匠農業事務所	
実施期間	2016年度		

## 〔目的及び背景〕

千葉県では、秋冬どりと春どりの2作型でブロッコリーが栽培されている。このうち秋冬どりは、近年の米価低迷等の影響により水田の裏作や転作畑での栽培が増加しつつある。しかし、特に12月以降の厳寒期では、低温の影響により花蕾腐敗や生理障害が発生し、品質・収量が低下しやすい。そこで、厳寒期でも生育に優れ、花蕾の品質が低下しにくい品種の選定を行う。なお、本試験は第64回千葉県野菜品種審査会（ブロッコリーの部）として実施する。

## 〔成果内容〕

- 1 第64回千葉県野菜品種審査会（ブロッコリーの部）において、9月16日定植で12月16日に審査された14点のうち、入賞したのは、「玉麟」、「KAZ002」、「SYBR-141」及び「アーサー」の4品種である（表1、写真1～3）。
- 2 入賞品種は1.6t/10a以上の収量であり、多収である（表2）。また、べと病などの病害の発生が少ない。「玉麟」及び「KAZ002」は、花蕾の生育に優れ、価格の高い花蕾径11cm以上（L規格以上）の株が多い。「SYBR-141」及び「アーサー」は花蕾の形状に優れ、綺麗なドーム状である。供試品種のいずれも12月中旬の審査日までに花蕾部の着色などの生理障害は見られない。

## 〔留意事項〕

「玉麟」は販売中止

## 〔普及対象地域〕

県内のブロッコリー産地

## 〔行政上の措置〕

[普及状況]

[成果の概要]

表1 審査結果

順位	出品 番号	品種名	審査得点			出品社名
			立毛	収穫物	合計	
1	6	玉麟	71.2	105.4	176.6	トキタ種苗(株)
2	10	KAZ002	67.9	99.3	167.2	カネコ種苗(株)
2	9	SYBR-141	68.2	99.0	167.2	シンジェンタジャパン(株)
4	5	アーサー	66.6	99.9	166.5	(株)ブロリード

- 注 1) 栽培場所は東総野菜研究室露地圃場（旭市）、土壌は典型淡色黒ボク土  
2) 平成28年8月19日に128穴セルトレイに培養土「与作N8号」を詰め、1粒播種し、同9月16日に畝間60cm、株間35cmで定植した  
3) 基肥は10aあたりの施肥分量は窒素12.0kg、リン酸20.8kg、加里12.0kgとし、追肥は窒素11.7kg、リン酸2.6kg、加里7.8kgを3回に分けて9月27日、10月26日、11月9日に行った  
4) 気象概況：8月中旬から9月下旬、11月中下旬に降水量が平年より多く、日照が少なかった。平均気温は平年並であった  
5) 審査日は平成28年12月16日に行った  
6) 配点は立毛審査80点、収穫物審査120点の合計200点満点



写真1 「KAZ002」



写真2 「SYBR-141」



写真3 「アーサー」

表 2 出品品種の収量性と葉の病害発生程度

出品 番号	品種名	収量 (t/10a)	平均 花蕾重 (g)	階級別割合 (%)			平均 花蕾径 (cm)	葉の病害 発生度
				L以上	M	S以下		
1		1.3	270	0	0	100	5.4	3.0
2		1.3	271	0	0	100	3.9	1.5
3		1.4	292	0	0	100	4.1	1.5
4		1.5	305	0	0	100	5.6	1.5
5	アーサー	1.6	346	13	25	63	8.2	1.0
6	玉麟	2.0	414	88	13	0	11.8	1.0
7		1.6	346	0	0	100	7.0	1.0
8		1.3	283	13	19	69	8.1	2.0
9	SYBR-141	1.8	382	13	88	0	9.6	1.0
10	KAZ002	1.7	362	63	19	19	10.3	1.0
11		1.3	273	0	6	94	4.8	1.0
12		1.4	289	0	0	100	3.9	2.0
13		1.2	257	0	0	100	4.8	2.0
14		1.7	357	0	19	81	6.6	3.0

注 1) 階級はL以上：花蕾径 11 cm 以上、M：9.5 cm 以上 11 cm 未満、S 以下：9.5 cm 未満とした

2) 花蕾重は葉柄を 5 cm に切り落とし、花蕾頂から 18 cm の長さに切りそろえてから計測

3) 葉の病害（主にべと病）発生度は、1：発病葉率 20% 未満、2：20% 以上 50% 未満、3：50% 以上の 3 段階で評価

[発表及び関連文献]

[その他]